8 波勝崎歩道（一般向）

野猿の波勝崎から大展望の高通山を経て雲見温泉へ

歩程　約2時間50分

野猿が約300匹群れ遊ぶ波勝崎から雲見入谷までを結ぶ約5.3kmの波勝崎歩道。展望随一の高通山経由のコースであり、道中もその美しい海岸線と遠くに御前崎、富士山、伊豆諸島を望むことが出来る。ただし、このコースはきつい上りが続き、猪だけではなく野生の猿に遭遇する危険性があるので、軽装で行ってはならない。飲料水も十分に持って行こう。

起終点である**波勝崎モンキーベイ**駐車場付近に、大きな案内看板がある。その案内看板の右方向より始まる歩道を北へと進んで行く。**雲見入谷**バス停4・7km・高通山1・7kmの看板が見えると舗装された県道を上って行く。所々に猿がいるので注意が必要だ。気を許すと、持ち物を取られる恐れがあるので要注意。安易にエサをあげてはならない。

進んで行くと大きく左にカーブする箇所に到着し、ここから本格的な長くきつい上りが始まる。雲見入谷バス停4・5km・高通山1・5km・波勝崎0・8kmの案内標識あり。時間のないときはここから歩きだしても良いだろう。

波勝崎歩道から少し外れてしまうが、県道を遊歩道方面に曲がらずにそのまま上り続けていくと、伊浜が一望できる喚声台に到着する。この地は伊浜平造という地名であるが、故林武画伯がこの地で開かれた海岸美の眺望に思わず喚声を上げたことにより喚声台と名付けられた。時間があれば、喚声台からの景色も見ていきたいところ。

▲波勝崎

▲千貫門と浅間山を望む

波勝崎歩道に戻り、きつい上りを上り切ると、あたりは山桜が目立つうっそうとした灌木の中で、ところどころに木の段がある緩い杉林の上りを抜け、尾根にぶつかる。ベンチが二つあり、高通山まで0・8kmの案内標識あり。

灌木が繁る尾根筋で木の段がずっと上に伸びている。ほとんど展望がないが時折、木立の間から雲見の浅間山や千貫門方面が見える。

一旦下ったかと思うと、また見上げるような木の段の上りが続く。しばらく上がると木の柵が施されたジグザクの急な木の段が始まる。海の展望が開け、千貫門や富士山が望める。上りが緩やかになり、草原の上りの先に高通山頂上が見えてくる。

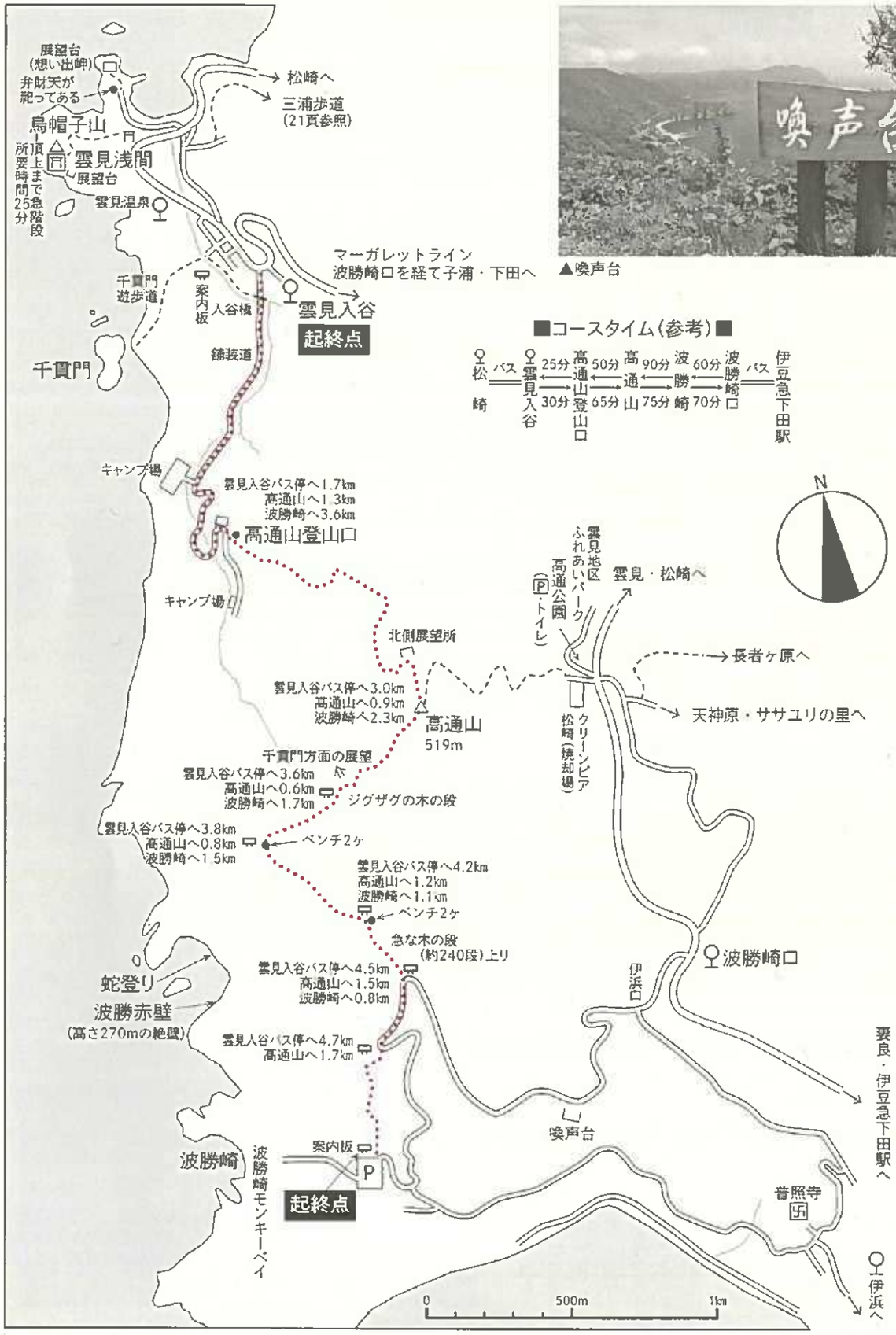
大きな岩がある山頂からは南伊豆の海と山並みが望める絶景地。初夏には赤いヤマツツジの花が山頂を埋める所だ。

桜の林を北に抜けると北側展望所。変化に富んだ西海岸と富士山が目に飛び込んでくる。眼下には雲見集落、浅間山、千貫門の絶景がある。春にはあたりの山々がオオシマザクラで真っ白になる。

雲見入谷に下る道に入ってしばらく行くと、灌木の中に猿岩と呼ばれる大きな岩が二つ。なおも斜面を下ると灌木の繁る尾根道となり、木の段がほとんどない下りで、石ころが多くて歩きにくい所がある。

左下にキャンプ場が見えてくると高通山登山口に出る。右に露天風呂を見て舗装道路を下り、山頂から見下ろした烏帽子山を見ながらなおも下る。キャンプ場の前を通り下り切ると雲見入谷のバス停。松崎行きのバスの便は少ない。時間に余裕があれば、入谷橋から川沿いに下り、山頂から見た奇岩・千貫門へ行ってみよう。往復40分くらいだ。

▲喚声台

■コースタイム（参考）■

松崎 ＝バス＝ 雲見入谷 25分／30分 高通山登山口 50分／65分 高通山 90分／75分 波勝崎 60分／70分 波勝崎口 ＝バス＝ 伊豆急下田駅